

JIS

道路用鉄鋼スラグ

JIS A 5015 : 2018

(NSA)

平成 30 年 12 月 20 日 改正

日本工業標準調査会 審議

(日本規格協会 発行)

日本工業標準調査会標準第一部会 土木技術専門委員会 構成表

	氏名	所属
(委員長)	宇 治 公 隆	首都大学東京
(委員)	綾 野 克 紀	公益社団法人日本コンクリート工学会 (岡山大学)
	石 田 知 子	株式会社大林組
	木 幡 行 宏	室蘭工業大学
	清 水 和 久	特定非営利活動法人コンクリート製品 JIS 協議会 (旭コンクリート工業株式会社)
	鈴 木 澄 江	一般財団法人建材試験センター
	棚 野 博 之	国立研究開発法人建築研究所
	谷 村 充	一般社団法人セメント協会
	塚 本 良 道	公益社団法人地盤工学会 (東京理科大学)
	津 川 優 司	一般社団法人日本建設業連合会 (飛鳥建設株式会社)
	早 川 光 敬	一般社団法人日本建築学会
	原 田 修 輔	全国生コンクリート工業組合連合会
	久 田 真	東北大学
	渡 辺 博 志	国立研究開発法人土木研究所

主 務 大 臣：経済産業大臣 制定：昭和 54.11.1 改正：平成 30.12.20

官 報 公 示：平成 30.12.20

原 案 作 成 者：鉄鋼スラグ協会

(〒103-0025 東京都中央区日本橋茅場町 3-2-10 鉄鋼会館 TEL 03-5643-6016)

審 議 部 会：日本工業標準調査会 標準第一部会 (部会長 酒井 信介)

審議専門委員会：土木技術専門委員会 (委員長 宇治 公隆)

この規格についての意見又は質問は、上記原案作成者又は経済産業省産業技術環境局 国際標準課 (〒100-8901 東京都千代田区霞が関 1-3-1) にご連絡ください。

なお、日本工業規格は、工業標準化法第 15 条の規定によって、少なくとも 5 年を経過する日までに日本工業標準調査会の審議に付され、速やかに、確認、改正又は廃止されます。

目 次

	ページ
序文	1
1 適用範囲	1
2 引用規格	1
3 用語及び定義	2
4 種類及び呼び名	3
5 品質	4
5.1 一般事項	4
5.2 水硬性粒度調整鉄鋼スラグ，粒度調整鉄鋼スラグ及びクラッシュラン鉄鋼スラグの物理的・ 化学的性質及び粒度	4
5.3 単粒度製鋼スラグの物理的・化学的性質及び粒度	5
5.4 クラッシュラン製鋼スラグの物理的・化学的性質及び粒度	5
5.5 道路用鉄鋼スラグの環境安全品質基準	6
6 エージング	6
6.1 水硬性粒度調整鉄鋼スラグ，粒度調整鉄鋼スラグ及びクラッシュラン鉄鋼スラグに用いる 製鋼スラグ	6
6.2 単粒度製鋼スラグ及びクラッシュラン製鋼スラグに用いる製鋼スラグ	6
7 試験方法	7
7.1 試料の採取	7
7.2 呈色判定試験	7
7.3 水浸膨張試験	7
7.4 単位容積質量試験	7
7.5 一軸圧縮試験	7
7.6 表乾密度及び吸水率試験	7
7.7 すりへり試験	7
7.8 粒度試験	7
7.9 環境安全品質試験	7
8 検査	7
8.1 検査項目	7
8.2 検査方法	8
8.3 製造ロットの管理	9
8.4 検査ロットの大きさ	9
8.5 検査の頻度	9
8.6 検査データなどの保管	10
9 表示	10
10 報告	10

	ページ
附属書 A (規定) 道路用鉄鋼スラグの呈色判定試験方法	19
附属書 B (規定) 道路用鉄鋼スラグの水浸膨張試験方法	21
附属書 C (規定) 道路用鉄鋼スラグの一軸圧縮試験方法	25
附属書 D (規定) 道路用鉄鋼スラグの環境安全品質試験方法	28
附属書 E (参考) 加熱アスファルト混合物成形体及びれき (瀝) 青安定処理成形体の作製方法	32
附属書 F (参考) 技術上重要な改正に関する新旧対照表	34
解 説	36

まえがき

この規格は、工業標準化法第 14 条によって準用する第 12 条第 1 項の規定に基づき、鉄鋼スラグ協会（NSA）から、工業標準原案を具して日本工業規格を改正すべきとの申出があり、日本工業標準調査会の審議を経て、経済産業大臣が改正した日本工業規格である。

これによって、**JIS A 5015:2013** は改正され、この規格に置き換えられた。

この規格は、著作権法で保護対象となっている著作物である。

この規格の一部が、特許権、出願公開後の特許出願又は実用新案権に抵触する可能性があることに注意を喚起する。経済産業大臣及び日本工業標準調査会は、このような特許権、出願公開後の特許出願及び実用新案権に関わる確認について、責任はもたない。

白 紙

道路用鉄鋼スラグ

Iron and steel slag for road construction

序文

この規格は、鉄鋼製造過程で生成する鉄鋼スラグを道路の路盤及び加熱アスファルト混合物として用いるために必要な品質などについて規定したものである。

この規格は、1979年に制定され、その後5回の改正を経て今日に至っている。今回の技術上重要な改正に関する旧規格との対照を**附属書 F**に記載する。

なお、対応国際規格は現時点で制定されていない。

1 適用範囲

この規格は、道路の路盤及び加熱アスファルト混合物に使用する鉄鋼スラグ（以下、道路用鉄鋼スラグという。）について規定する。

注記 1 鉄鋼スラグには、せん鉄製造過程で生成する高炉スラグと、鋼の製造過程で生成する製鋼スラグとがある。高炉スラグは、冷却方法の違いによって、高炉徐冷スラグと高炉水砕スラグとに分けられる。製鋼スラグは、鋼の製造方法の違いによって、転炉系スラグと電気炉系スラグとに分けられる。

注記 2 道路用鉄鋼スラグには、高炉スラグ及び製鋼スラグを素材とし、これらの素材を単独又は組み合わせて路盤材として製造したもの、並びに製鋼スラグを素材とし、加熱アスファルト混合物及びれき（瀝）青安定処理（加熱混合）に用いる骨材として製造したものがある。

2 引用規格

次に掲げる規格は、この規格に引用されることによって、この規格の規定の一部を構成する。これらの引用規格は、その最新版（追補を含む。）を適用する。

JIS A 1102 骨材のふるい分け試験方法

JIS A 1103 骨材の微粒分量試験方法

JIS A 1104 骨材の単位容積質量及び実積率試験方法

JIS A 1110 粗骨材の密度及び吸水率試験方法

JIS A 1121 ロサンゼルス試験機による粗骨材のすりへり試験方法

JIS A 1203 土の含水比試験方法

JIS A 1210 突固めによる土の締固め試験方法

JIS A 1211 CBR 試験方法

JIS K 0058-1 スラグ類の化学物質試験方法―第1部：溶出量試験方法

JIS K 0058-2 スラグ類の化学物質試験方法―第2部：含有量試験方法